

# 安心して投票を



選挙管理委員会事務局 ☎(88)91633

今年は、秋までに衆議院議員総選挙の執行が予定されています。有権者の皆さんが安心して投票できるように、各投票所では新型コロナウイルス感染症対策を行います。

## 投票所での対策

- ▼投票所内の換気、記載台の消毒を定期的に行います。
- ▼投票所内に手指消毒用アルコールを設置します。筆記具は、使い捨ての鉛筆を用意します。
- ▼選挙事務従事者は、フェイスマスクやマスク、手袋などを着用します。
- ▼入場券や投票用紙の受け渡しは、専用トレイを介します。

## 投票される皆さんへ 感染対策のお願い

▼投票所入場の際には、マスクを着用し、手指の消毒を

てください。

▼投票所の中では周りの人との間隔を取ってください。

▼持参した黒の筆記具の使用も可能です(鉛筆・シャープペンを推奨)。

## 期日前投票を積極的に活用しましょう

▼選挙当日に仕事などの用事がなくても「新型コロナウイルス感染症予防」の事由で期日前投票をすることが出来ます。感染と混雑を避けるため、できるだけ期日前投票を利用してください。

▼選挙日直前の金・土曜日は混雑しますので、早い段階での投票をお願いします。

## 下水道の3つの役割

### ① 衛生の確保

各家庭や工場などから排出される汚水を、速やかに汚水管に流すことにより、快適で衛生的な生活を送ることが出来ます。

### ② 河川の水質保全

汚水管を通して運ばれた汚水を、下水処理場で浄化して河川などに放流することで、水質を保全します。

### ③ 浸水被害の防止

大雨や台風のように家や道路が浸水しないよう、排水路などで雨水を河川に流して街を守ります。

## 早期の下水道接続を

下水道(公共下水道、農業集落排水)の供用が開始された地域では、下水道への接続をお願いします。まだ接続していない人は、早期の接続をお願いします。市では、公共下水道への接

## 新型コロナウイルスワクチン

# 集団接種会場を変更します

9月3日(金)から、集団接種会場を須賀川アリーナから「グランシア須賀川」に変更します。会場変更に合わせて、接種日を水曜日から日曜日までの週5日とし、レーンを増設することにより、最大接種可能人数を増やし、接種体制を拡充します。



## 対象者全員に接種券を発送します

希望する高齢者への接種は7月で終了し、現在、基礎疾患を有する人と64歳以下の人の接種を進めています。今後は、対象者全員に対し9月中に接種券を配布する予定です。最新の発送状況については、市ホームページや市公式LINEをご覧ください。



市ホームページワクチン情報



市公式LINEアカウント

健康づくり課 ☎(88)8122

## 市新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター

☎0120(567)455(フリーダイヤル)  
※受付時間：午前8時30分～午後5時(土・日曜日、祝日を除く)  
コールセンターでは、集団接種の予約受け付けなど、一般的なお問い合わせに対応します。



## マンホールカードを配布

下水道のマンホール蓋は、自治体ごとにその土地ならではの文化や名所などをモチーフにデザインしています。市では、下水道への関心を深めていただくため、マンホールカードを次のとおり配布しています。

**配布場所** tette

**配布時間**

- 月～土曜日 午前9時～午後10時
- 日曜日・祝日 午前9時～午後8時

※毎月第3火曜日、年末年始を除く。新型コロナウイルス感染症の影響により、配布時間が変更になることがあります。

**配布枚数** 1人1枚(無料) ※郵送不可

中心に市章、周りに牡丹をデザインしています



川はきれいかな? (「下の川」の環境学習・第三小)

## 合併処理浄化槽の補助制度

合併処理浄化槽は、し尿と生活雑排水を併せて処理する浄化槽で、下水道の処理施設と同様に優れた浄化機能があります。河川などの水質を保全するため、下水道の整備対象外の地域には、合併処理浄化槽の補助制度があります。設置補助 合併処理浄化槽の

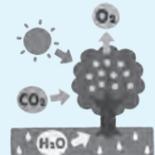
設置費、単独処理浄化槽や、くみ取り便所から合併処理浄化槽への転換設置費を補助維持管理補助 一般住宅に設置している合併処理浄化槽の維持管理費を補助 各補助制度の対象や申請方法については、下水道施設課にお問い合わせください。

## 環境コラム

### 「カーボンニュートラル」ってなんだろう?①

国は令和2年10月の臨時国会で「2050年までに温室効果ガスの排出を全体でゼロにするカーボンニュートラルを達成し、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しましたが、これはどういうことなのでしょう?

「カーボンニュートラル」とは、私たちが暮らしの中で排出する二酸化炭素を中心とした温室効果ガスの量から、植物が吸収した量や技術的に除去した量などを差し引いて、全体としてプラスマイナスゼロにすることを意味しています。



では、「カーボンニュートラル」を達成するために、私たちはどうすればよいのでしょうか?

次回の「ちょこっとエコな話」で紹介していきます。  
環境課 ☎(88)91330

# 美しい水環境を次世代へ

下水道施設課 ☎(88)9159

下水道は普段目に触れない施設ですが、快適で衛生的な生活環境の確保など、大切な役割があります。今月号では、下水道や合併処理浄化槽の補助制度についてお知らせします。